



自衛隊栃木地方協力本部

募集の波に乗り遅れるな！ ～開園50周年の井頭公園一万人プールで広報展を開催～



広報ブースの様子



南極の氷展示は猛暑の中、一番人気！



軽装甲機動車前で写真撮影



制服試着体験



募集ブースの様子
質問に丁寧に答える地本部長

自衛隊栃木地方協力本部真岡募集案内所（所長 麦倉准陸尉）は8月5日（土）、開園50周年を迎えた井頭公園一万人プール（真岡市下籠谷）の開園記念イベント（万プーサーマーフェスティバル2023）に合わせて自衛隊広報展を開催した。

井頭公園一万人プールは海なし県で愛され続けてきた地域密着型施設で、今回の記念イベントでは栃木県出身のお笑い芸人「U字工事」によるトークショーや、スタンドアツパドルボード（SUP）体験などが開催されたこともあり、猛暑の中、朝早くから多くの家族連れが入園待ちの行列をなしている姿が見られた。

当日は入場ゲート前に自衛隊の広報エリアを設置し、1/2トトラック展示、中央即応連隊（宇都宮）の支援を受け、軽装甲機動車、偵察用オートバイ等の装備品展示の他、オリジナル缶バッジ作成体験、南極の氷展示、制服試着体験等を実施した。

広報ブースは参加者で大変賑わい、極の氷展示では、3万年前の氷に触れ感嘆の声が上がることも、偵察用オートバイ等装備品の前では思い思いのポーズを決めて写真撮影を楽しんでいた。

真岡募集案内所は「今回多くの地域住民に自衛隊を知ってもらい、自衛隊志願候補者と交流することも出来た。今後も、地域に密着した施設等との連携を深め自衛隊のPRと募集活動に尽力していきたい」としている。



自衛隊の帽子をかぶって記念撮影



オリジナル自衛隊缶バッジの作成



広報ブースの様子

